

BlueDot 26 Plus E20M



目 次

| | |
|-------------------------------|----|
| ・安全上の注意 | 2 |
| ・主な仕様 | 5 |
| ・付属品 | 6 |
| ・各部の名称 | 7 |
| ・原料の補充 | 8 |
| ・開店前の準備手順(本製品の立ち上げ) | 9 |
| ・メニューの抽出 | 9 |
| ・日中のオペレーション 補充 | 10 |
| ・日中のオペレーション 破棄 | 11 |
| ・毎日のお手入れ クリーニングモードを使用した本製品の清掃 | 12 |
| ・毎日のお手入れ オールインワンクリーン | 13 |
| ・毎日のお手入れ ミルカークリーニングの単独操作 | 15 |
| ・毎日のお手入れ その他の清掃 | 16 |
| ・週一のお手入れ 豆ホッパーの清掃方法 | 16 |
| ・週一のお手入れ ミルカー分解清掃 | 17 |
| ・本製品の電源を切る | 20 |
| ・アラーム表示 | 20 |
| ・トラブルシューティング | 22 |
| ・保証とアフターサービスについて | 24 |
| ・コーヒーマシン 保証書 | 25 |

安全上のご注意

(安全に関する重要事項です必ずお読みください)

本製品を使用する際には、ご使用前に安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使いください。

表示されているマークの説明



警告

この表示は、誤った取扱いすると、人が傷害を負ったりその他の人的物的損害が起きる可能性があること示しています。



注意

この表示は、誤った取扱いすると、人が死亡または重傷を負う可能性があること示しています。

全般的な注意事項



警告

- 本製品の分解や修理は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないでください。修理や分解組立が正しく行なわれないと、本製品が正常に作動せずに水漏れや感電や火災などの原因となります。(但し、取扱説明書に記載されている清掃や調整は、手順に従って行えば安全です。)
- 本製品を改造しないでください。感電や火災の原因となります。
- 異常が発生した場合には、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源プラグを抜いて、すぐに販売店もしくは、コールセンターに連絡をしてください。(電源スイッチを切る時や電源プラグを抜く時は、感電や火傷に注意してください。)
- 本製品の内部にある部品や電気配線、配管などには手や体を接触させないでください。火傷や感電の原因となります。
- 本製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断器が作動をした可能性があるときには、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源プラグを抜いて販売店もしくはコールセンターに連絡をしてください。そのまま使用すると感電や火災などの原因となります。
- 本製品に水がかかったり、付近でガス漏れの可能性がある場合には直ちに使用を止めてください。ガス漏れの際には使用されているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。
- 本製品を移動する場合には、電源プラグが抜かれていること、本体内部に水やコーヒー豆などが無く、十分に冷えていることを確認して行なってください。火傷や感電の原因となります。
- 電源プラグや電源コードを濡れた手で触らないでください。感電の原因となります。



注意

- 電気製品を使用する際には火事、感電、怪我の危険を避けるために、常に安全のための基本的な注意事項を守ることが大切です。電気製品を取り扱う際の一般的な注意事項に従ってご使用ください。
- 本製品の点検やお手入れをする時には、取扱説明書に従い、主電源を切り、電源プラグを抜いて行なってください。感電や火傷怪我の原因となります。
- 電源プラグをコンセントへ抜き差しする時には、電源プラグや電源コードの取扱いに十分に注意をしてください。また、電源コードに人や物が絡まったり、つまずいたり、踏まれたりしないようにしてください。感電や火災や怪我の原因となります。
- 長時間本製品を使用しないときには、本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、本製品内部の水やコーヒー豆などを全て取り出し、洗浄を行ってください。

- 表面が熱くなっている部分には触れないでください。火傷や怪我の原因となります。
- 火事、感電や怪我を防ぐために電源コード、電源プラグや電気製品を水や液体に浸さないでください。
- 子供が電気製品を使用するときは十分に子供を監督し、子供の近くで電気製品を使用するときには、細心の注意を払ってください。
- 部品の取付、取外しまたは清掃をする時には十分に温度が下がった状態で行なってください。
- 電源コードや電源プラグが傷んでいたり正常に動かない時には作動をさせないでください。電源プラグや電源コードの修理交換は認定されたサービスマン以外は絶対に行なわないでください。
- 付属品以外のものを使用しないでください。火事、感電や怪我の原因になることがあります。
- 野外では使用しないでください。
- 電源コードが卓上、カウンター上または表面が熱くなる場所の上などに垂れ下がらないようにしてください。
- ガスコンロ、電熱器や熱くなったオープンの上やそばに置かないでください。
- 最初に本製品側に電源コードを差し込んだ後でプラグをコンセントに差し込んでください。
- 本製品の電源スイッチを切ってからコンセントから電源プラグを取り外してください。
- 本来の目的以外には使用はしないでください。
- スチームやお湯が抽出されている時には十分に注意をしてください。火傷や怪我の原因となります。
- 本製品は業務用です。

設置及び据付時の注意事項

本製品は、使用及び保守の訓練を受けた要員だけに制限されている場所または訓練を受けた要員が監視できる場所に据付してください。

警告

- 本製品に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行き、電源の容量の確認を行うなど、設備工事に不備が無いようにしてください。感電や火災、本製品の故障の原因になります。
- 本製品の据付は認定されたサービスマン以外は絶対に行なわないでください。
- 据付を行なう時には、本製品の電源コードを損傷させたり、無理な配線をしたりしないようにしてください。電源コードが傷んだままで使用をすると感電や火災、本製品の故障の原因になります。
- コンセントの形状は接地(アース)があるタイプのものをお使いください。アースが不完全な場合には感電の危険性があります。
- 漏電遮断器の設置をお願いします。



注意

- 設置及び据付を行なう際には本製品を落下させたり倒したりしないでください。落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 据付をする場所は平坦で水平な場所で、十分に本製品の重量に耐えられる場所に設置してください。不安定な場所に設置をすると落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 天然木や天然石の上に置く場合、日常の作業や本製品の洗浄中に水滴や飛沫が飛散し、表面を汚したり変質の原因となることがあります。水や洗浄液飛沫がついても影響の無い材質の上に設置するか、直接飛沫が触れないように保護を行なってください。
- 設置周辺温度は5～30℃になる場所で、直射日光が常に当たる場所、埃や塵が多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには設置をしないでください。内部の電気部品などの故障の原因となります。
- 本製品の周囲に熱がこもらないように周囲の壁や家具や機器などから15cm以上離して設置してください。熱がこもると電気部品などの故障の原因となります。
- 水道に直結する場合には0.5メガパスカル(MPa)以下の圧力であることを確認してください。高い場合には減圧弁を使用してください。
- 使用の際は、浄軟水器を設置してください。また浄軟水器の使用条件にあわせて定期的に交換してください。
- 純水や純度の高い水を使用しないでください。水位センサーが水位の検出ができず、漏水の原因になります。

注意

操作を行なう時の注意事項

- 初めて使用する時、数か月以上使用しなかった後は、キャニスターなどの食品に触れる部品は洗浄してください。
- 抽出操作を行なう前に、ノズルの位置に注意し、カップを置いてください。また、高さの低いカップの場合は、カップ置台を用意してください。抽出中は、本製品から十分離れてください。抽出液や熱湯の飛沫により火傷の原因になります。
- 抽出ライン(ミキサーなど)の洗浄は規定どおりに実施してください。洗浄を行わず放置しておく、系統内に残った抽出液などに細菌が繁殖して衛生状態を悪化させます。
- 前面パネルのクリアー部分(アクリル製)とメッキ部分にアルコール類を使用すると破損します。使用はしないでください。
- 外した部品は乾燥機や食器洗浄機に入れると破損します。乾燥機や食器洗浄機は使用しないでください。

使用時とメンテナンス時の注意点

- 本製品を正しくお使いいただくために、説明書に従って操作を行なってください。メンテナンス及び安全性の確認は操作内容を十分に理解して行ってください。
- 水の供給をしない状態で本製品を使用しないでください。故障の原因となります。
- 0度以下になる室内に水系統から水抜きをしないまま本製品を放置しないでください。凍結により故障の原因となります。
- 本製品の清掃には、高圧水洗浄機を使用しないでください。

主な仕様

| | |
|-------------|---|
| 幅 | 253mm |
| 高さ | 585mm |
| 奥行き | 550mm |
| 重量[満水時] | 24kg |
| コーヒー豆ホッパー容量 | 500g |
| コーヒー豆ホッパー | 2 |
| 抽出ユニット | 1 |
| グラインダー | 2 |
| メニュー数 | 最大24メニュー 1画面6(最大16)メニュー x 4画面 ホットウォーターを含む |
| 排水トレイ容量 | 600cc |
| 給水方法 | 水道直結 |
| コーヒーカス箱容量 | 約50杯 |
| ボイラー容量 | 0.6L |
| ポンプ | 内蔵式 ポンプ(バイブレーション式) |
| 定格電源 | 100V 50 / 60 Hz |
| 定格消費電力 | 1400 W |
| 電源コード | 約1.8m |
| 水道圧 | 0.1~0.5メガパスカル(MPa) |
| 給水接続方法 | 15A バルブ止め |
| 適応水硬度 | 50 (mg/L)以下 |
| 使用温度・保管温度 | 5 - 30℃ |
| 使用湿度 | 80%以下 |

(注)凍結の恐れがある場合には本製品内の水を抜いてください。

(注)お湯ではなく必ず水を給水してください。

(注)水以外やミネラルウォーター類、純水や硬度の高い水は使用しないでください。

※取扱説明書内で使用されている画像は一部色が違う物を使用しています。

付属品

| |
|-----------------------------|
| 清掃用ハケ |
| 清掃用ブラシセット |
| コーヒーマシンクリーナー (サンプル20錠) |
| ミルクチューブクリーナー (サンプル250ml) |
| 排水受け容器 |
| 洗浄用ボトル |

ご用意して頂く物

| | |
|----------------------------|--------------------------|
| コーヒーマシンクリーナー (製品版 100錠) | ミルクチューブクリーナー (製品版 1L) |
| アルコール除菌剤 | ペーパータオル |
| つまようじ (もしくは先のとがった細いもの) | |

各部の名称

豆ホッパー 2

豆ホッパー 1

電源プラグ



ドアキー

ディスプレイ

前面ドア

ミルクチューブ
(ミルク保冷庫の冷えた
ミルクをつなぐ)

排水スノコ

お湯抽出口

抽出口

電源スイッチ

※本製品うしろ



排水トレイ

本製品うしろ
電源ケーブルソケット



エスプレッソ用
コーヒーシューター

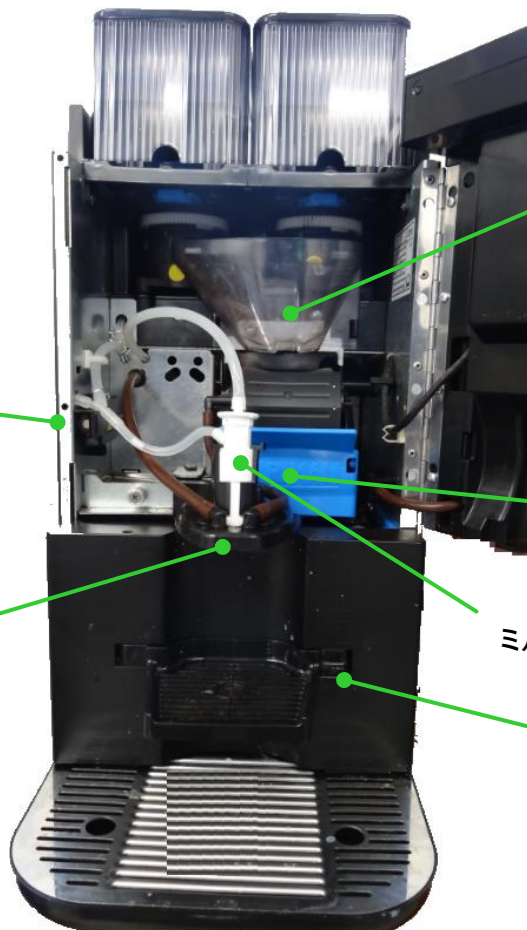
ドアスイッチ

エスプレッソ用
抽出ユニット

抽出ノズル

ミルクカー

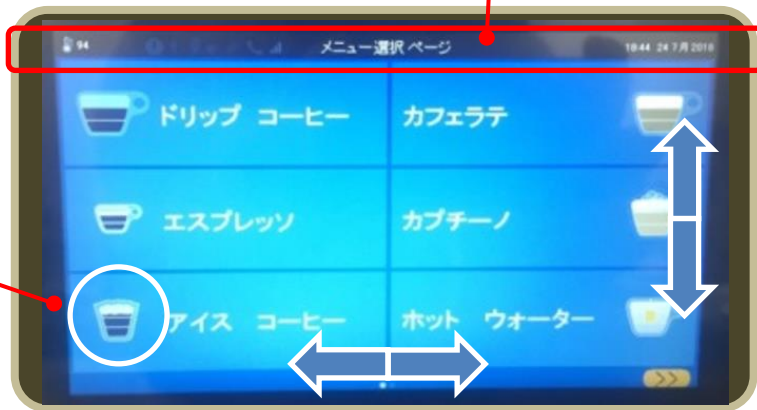
カス箱



各部の名称

インフォメーションバー
日付、エラーサインをお知らせします。

操作ボタン
抽出したいメニュー
をタッチして
ください。



本製品をOFF画面にする
場合などは上下の
フリック操作で行います。

メニュー次ページ/前ページの
切り替えをフリック操作で行えます。

原料の補充

1 コーヒー豆を補充してください。

豆ホッパー②

豆ホッパー①



メニューで左右のホッパーの豆を選んでい
るので、左右のホッパーに入れる豆の種
類を取り違えと同じメニュー選択でも味
が変わります。ホッパーの位置と豆の種類
は十分確認してください。

2 補充する原料が入る容器のふたのカギ
を開けてふたを取ります。

カギを反時計回りに
回して開けます。

ホッパーの蓋を開けます。



3 使用するコーヒー豆を補充してふたを閉
じ、カギを閉めてください。

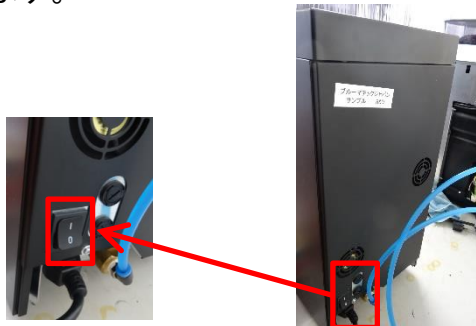
豆を入れてホッパーの
蓋を閉じます。

カギを時計回りに
回して閉めます。



開店前の準備手順（本製品の立ち上げ）

- 1 本製品後ろの電源スイッチを入れ（1側）ます。

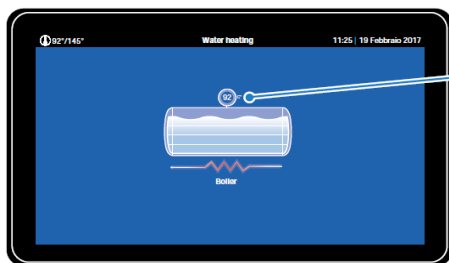


- 2 ディスプレイが Power On 表示になったら丸印のPower On をタッチします。



Power On 表示部分をタッチする

- 3 本製品はヒーティング表示に切り替わり設定温度までボイラーをヒーティングします。



ボイラーヒーティング表示

- 5 ヒーティングが終わると画面はドリンクメニュー表示になります。



メニュー抽出

- 1 抽出口下にカップをセットしてください。



- 2 お好みのメニューボタンをタッチしてください。



- 3 抽出画面に選択したドリンク名と進行バーを表示します。（表示される絵などは設定で変わります。写真は例です）



進行バー

- 4 抽出が終わると完了音と共に表示が変わります。



- 5 カップをお取りください。



- 6 画面がドリンクメニュー表示になれば抽出が可能になります。



◎コーヒー豆補充

コーヒー豆が無い状態で抽出するとエラーが出て止まります。
豆を補充してください。

※アラームが出る前にこまめに補充をお勧めします。

※エラーの数字はホッパーの位置を示しています。

※補充するホッパーを間違えると味が変わります。



コーヒー用
豆ホッパー②

コーヒー用
豆ホッパー①



◎コーヒーカス箱のカス破棄

コーヒーの抽出カウンターが設定された杯数をカウントした時に「カス箱がいっぱい」表示されます。溜まったコーヒーのカスを捨ててください。
※抽出のカウントが設定杯数に達するとアラームが出るようになっています。



①前面下ドアを左前に開けます。



②カス箱を取り出して中のかすを捨てます。



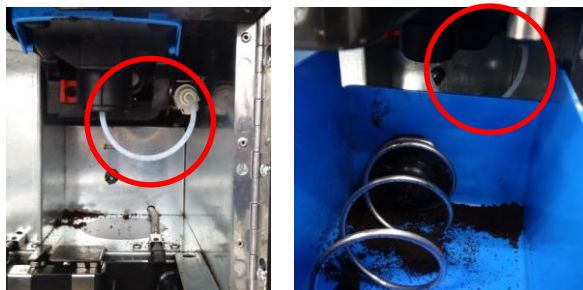
③カス箱を戻して前面ドアを閉めます。



④ディスプレイがトップページになっているので、Power Onをタッチします。



【注意】チューブが干渉してカス箱が入りにくい場合があります。奥まで入れられないと感じられた際は奥を確認してチューブを避けるようにして入れてください。



◎排水トレイの排水破棄

排水トレイが満杯になると「排水トレイが満杯です」と表示されます。排水トレイを抜いて溜まった水を捨ててください。

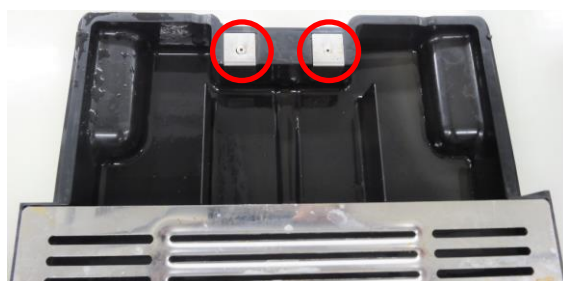
満杯表示



排水トレイを本製品に戻す際は奥まで差し込んでください。



トレイ金属部が汚れにより誤検知を起すことがあります。トレイ金属部をきれいに拭いてから戻してください。



クリーニングモードを使い、コーヒー、ミキサー、ミルクの各経路のクリーニングを行ってください。



※クリーニングは必ず行ってください。行わないと故障の原因になります。

○ 使用するクリーナー



コーヒーマシンクリーナー

コーヒーの抽出経路で使用
します。
※タブレット状のクリーナー



ミルクチューブクリーナー

ミルクの抽出経路で
使用します。

◎クリーニングモードの種類

クリーニングモードには下記の種類があります。

毎日行なうモードはオールインワンクリーンを選択してください。

その他モードを単独で行う場合は画面の指示に従って操作してください。

・オールインワンクリーン：各経路のクリーニングを連動して行なうモードです。

その他モード

・グループクリーニング：各コーヒー抽出経路のクリーニングを単独で行うモードです。

ES 簡易リンス・・・お湯で流す清掃

ES グループクリーニング・・・マシンクリーナーを使用して行なう清掃

・ミルククリーニング：ミルクの抽出経路をクリーナーを使用して行なうモードです。

! ※クリーニングは必ず行ってください。行わないと故障の原因になります。

1 コーヒー抽出ノズルをブラシを使用して掃除してください。



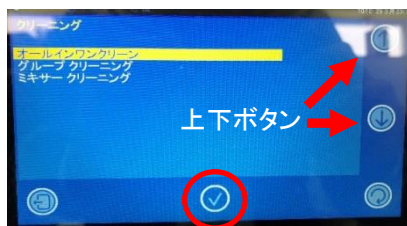
2 ドリンクメニュー表示画面の状態から指で画面の枠外から枠内にフリックしてください。



3 メニュー画面の「クリーニング」をタッチします。

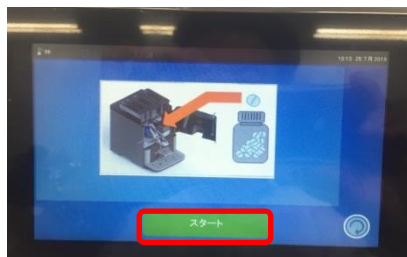


4 上下ボタンでカーソルを「オールインワンクリーン」に合わせてスタートボタンをタッチします。



スタートボタン

5 下の画面になったらスタートボタンを押してください。

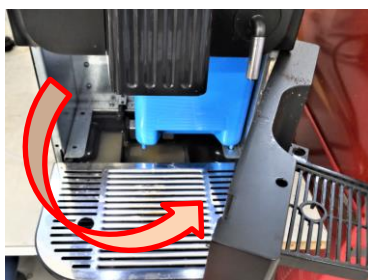


**ドア開—クリーナ投入
ドア閉**

が表示され5秒程待ち次に進みます。
(時間が早いとクリーニングモードに入りません)



6 ドアキーを解除して前面ドアを開けます。



7 抽出ユニットの穴にマシンクリーナーを1錠入れます。



抽出ユニット



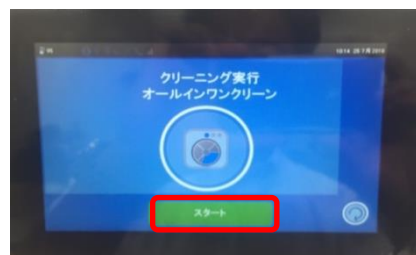
8 前面ドアを閉めてドアキーを閉めます。



9 抽出ノズル下に排水受け容器を置きます。

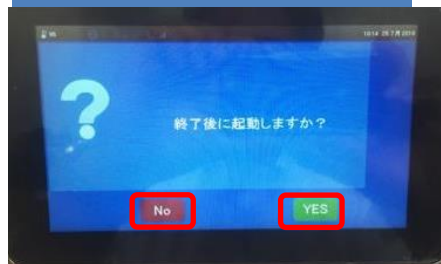


10 画面が変わりましたらスタートボタンを押してスタートさせます。



11 画面は下記のように変わり、クリーニング終了後の状態を選択します。

終了後に起動しますか？



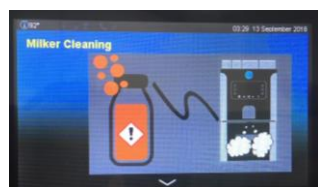
Yes を選択：クリーニング終了後
メニュー画面に戻る。



No を選択：クリーニング終了後
Power On画面になる。

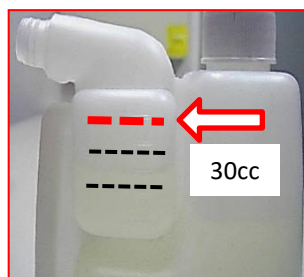


12 ミルカークリーニング用の洗淨液を作成します。



ミルクチューブクリーナー

13 ミルクチューブクリーナーの投入口キャップを外し、容器を押して30cc分を取ります。



14 洗淨用ボトルにお水300ccを入れ(お湯は厳禁)、30ccのクリーナーをボトルに追加して洗淨液を作ります。



15 ミルクチューブを洗淨ボトルに差し込みセットします。



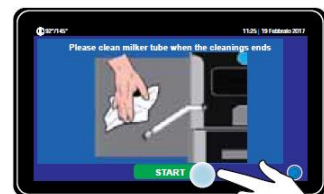
16 セットしたら下記の表示でスタートボタンを押します。



スタートボタン

17 スタートボタンを押します。

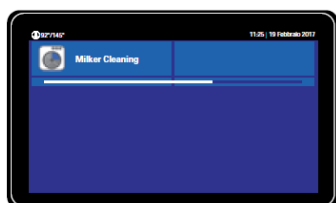
※クリーニング終了後にミルクチューブ拭き清掃の案内が出ます。



スタートボタン

18 クリーニングがスタートし各クリーニングが順番に行われます。

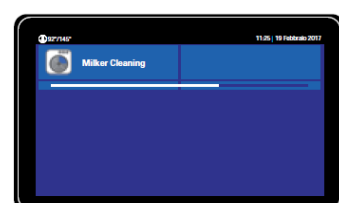
- ①ミルカークリーニング(ミルク経路)
- ②グループクリーニング(コーヒー経路)



19 クリーニング中に[排水トレイが満杯です]と表示された場合は排水トレイを抜いて排水を捨ててください(ただし前項「9」の手順で抽出ノズル下に排水受け容器が置かれている場合は排水トレイに排水が入らないのでこの表示は出現しません)

トレイを再セットするとクリーニングが再開されます。

※トレイの抜き差しの際、画面表示が変わるまで5秒程かかります。



トレイ再セット後、再スタートします。

20 クリーニングが終了すると 11 (11番)で選択した状態で終わります。

Yesを選択 : メニュー画面



Noを選択 : Power On 画面



21 ミルカークリーニングで使用したボトルにはミルカークリーニングのすすぎ工程で本製品から出たお湯が入っていますので捨ててください。
ペーパータオルにアルコール除菌剤を噴霧し、ミルクチューブの外側の拭き清掃をしてください。

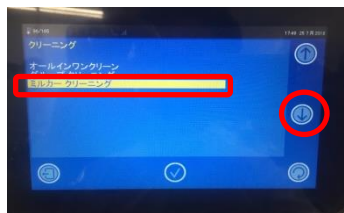


毎日のお手入れ

ミルカークリーニング

※ミルクを使用するメニュー(カフェラテやカプチーノなど)を多く抽出した後はミルク汚れの固着低減のためミルカークリーニングモードでミルク経路の清掃を行ってください。

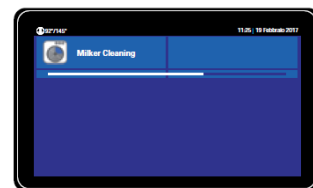
1 クリーニングモードに入り下の画面で ↓ボタンを押してカーソルを[ミルカークリーニング]に合わせて決定ボタンを押します。



2 洗浄用ボトルに洗浄液を作り(お水300cc+クリーナー30cc)ミルクチューブをセット後スタートさせます。

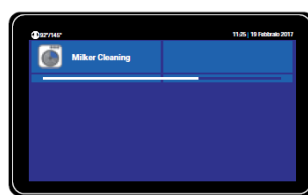
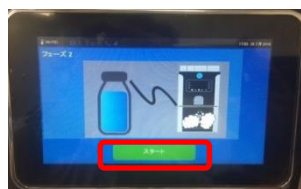


スタートボタン



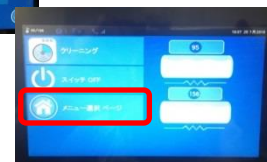
クリーニングがスタートします。

3 すすぎを行います。(ミルカークリーニングのみの操作ではすすぎ用の水を使用します)残った水を捨ててボトルを洗浄したら、お水300mlをボトルに入れてセットし決定ボタンを押してください。



すすぎがスタートします。

4 すすぎ終了後下の画面に変わります。戻りボタンを押し、ドリンクメニュー表示に戻るにはメニュー選択ボタンを押します。



300mlのお水をセットしてください。

カス箱、排水トレイ水洗い清掃を行ってください。



※「ESカス箱がいっぱい」のメッセージが出る前にカスを破棄してもカス箱のカウンターはリセットされません。



※トレイの金属部は特にきれいにしてください。



注意: 本製品から外せる物は食器洗浄機や乾燥機は使用しないでください。

週1回のお手入れ 分解清掃、拭き清掃について

豆ホッパー、排水トレイなどクリーニングモードでは行えない部分は手作業で清掃を行ってください。

週1回のお手入れ 豆ホッパーの清掃方法

1

豆ホッパー容器内側の油分の拭き取り清掃を行います。
コーヒー豆が少なくなった時または、空の状態で行うことおすすめします。



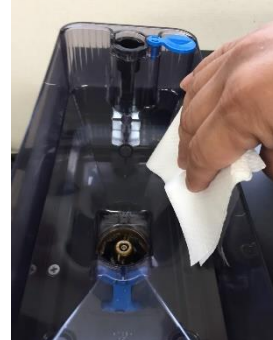
2

鍵を開け豆ホッパーのふたを外します。



3

ホッパー内部をペーパータオルで拭き取ります。



4

豆を補充して豆ホッパーのふたを元に戻し鍵を閉めます。



5

下図の画面になったら Power On をタッチする。

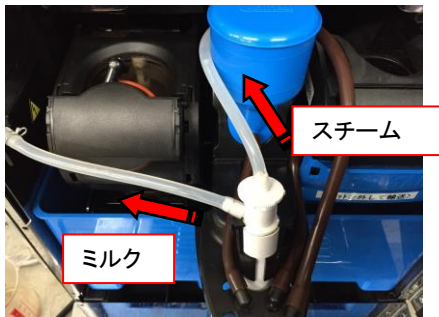


6

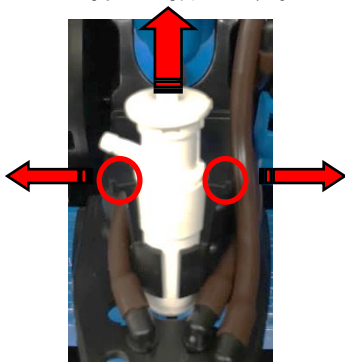
ディスプレイはドリンクメニュー表示になります。



1 ミルカー接続されているチューブ(ミルク用及びスチーム用)を抜きます。



2 ミルカー取り付けホルダーを指で広げながらミルカーを下から押して抜きます。



3 ミルカーを左右に引っ張り、最下部①の部品を引き抜きます。



4 左手で下部②を持ち、右手で上部③④を反時計回りに最後までまわしてロックを解除し、上方向に引き抜きます。
※力を加えながらゆっくり引き抜いてください。



ロック状態
(爪が左に寄っている)



ロック解除状態
(爪が右に寄っている)

5 左手で下部③を持ち、右手で上部④を反時計回りにまわしてロックを解除し、上方向に引き抜きます。



ロック状態
(窓の中に爪が見える)



ロック解除状態
(窓の中に爪が見えない)

6 分解したミルカーをミルカークリーニング作成したときと同じように洗浄液を作り(クリーナーを水で10倍希釈)つけ置きします。(10分以上)つけ置き後取り出したミルカーは流水でよくすすぎながらブラシにて汚れを落とします。



※汚れがひどい場合はつけ置き時間を延長してください。



7 パーツは洗浄後、濡れた状態で組み立てます。(Oリングがスムーズに入りやすいです)
 ※ 組み立ての際、Oリングに欠けや切れまたは、リングが緩くないかを確認し、破損などがある場合はOリングを交換してください。

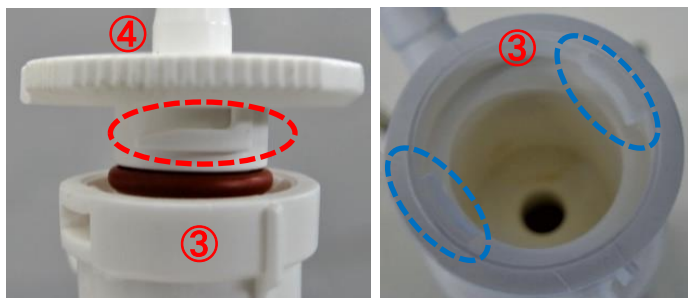
◎ Oリングの交換方法 ※ 予備のOリングがなくなった場合は注文してください。



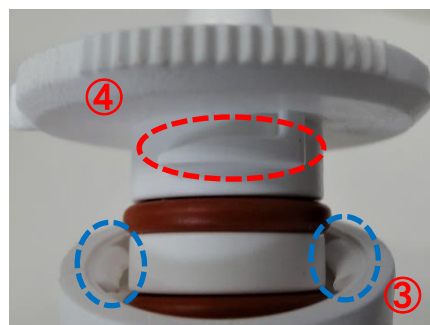
- ①つま楊枝をOリングの右側に添えます。
- ②部品を手前に回しOリングを浮かせます。
- ③Oリングを引っ張り外します。
- ④新しいOリングを取り付けます。

⚠ ※ つま楊枝で手をケガないように注意してください。

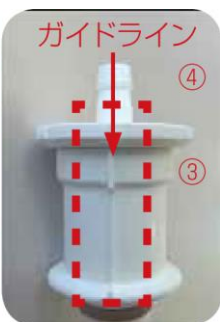
8 ミルカーを組み立てます。
 上部2つのパーツ③④の凹凸位置を確認します。



9 パーツ③④の凹凸に注意しながら組み合わせます。



10 隙間がないようにしっかりと組み合わせ、時計回りに回してロックします。



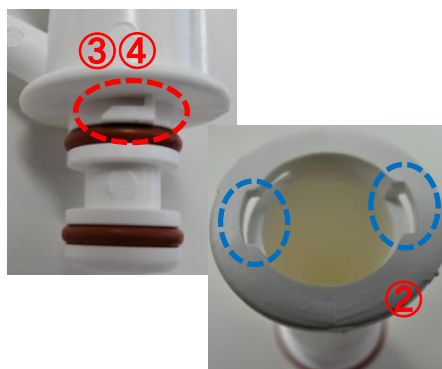
隙間があるとカップ量が少ない、ミルクが泡立たない、もしくは泡立ちが悪い等の原因となります



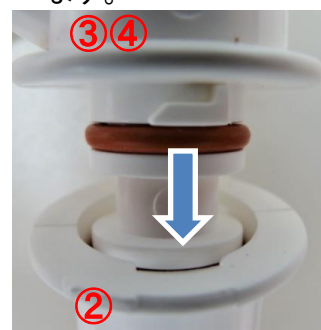
11 組み立てたパーツ③④と次のパーツ②を組み合わせます。



12 2つのパーツの凹凸位置を確認します。



13 2つのパーツの凹凸に注意しながら組み合わせます。



14 隙間がないようにしっかりと組み合わせ、時計回りに回してロックします。



隙間があると
カップ量が少ない、
ミルクが泡立たない
もしくは泡立ちが
悪い等の原因と
なります



ガイドラ
インに合
わせるよ
うに組み
合わせて
下さい

15 組み立てたパーツ②③④と最下部のパーツ①を組み合わせます。



16 隙間がないようにしっかりと組み合わせます。→ 完成。

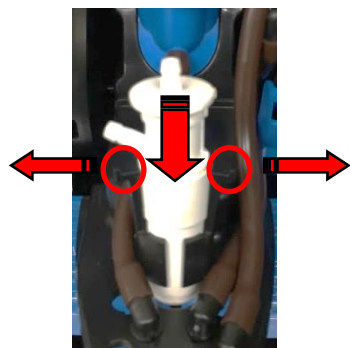


隙間があるとカップ量
が少ない、ミルクが
泡立たない、もしくは
泡立ちが悪い等の原
因となります



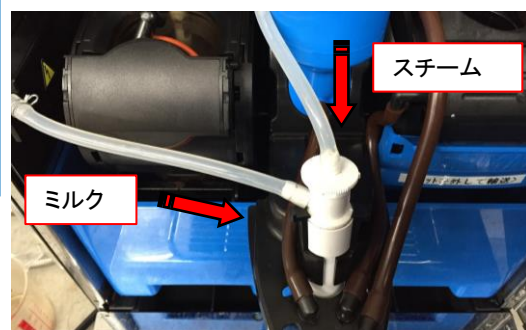
最下部①
のパーツ
にはライ
ンはあり
ません

17 ミルカーホルダーを少し広げながらミルカーをセットします。



18 ミルカーにチューブ(ミルク用、スチーム用)を差し込みます。

⚠ シリコンチューブは
差し間違いのないよ
うに注意してください。
差し間違えるとミルクが抽
出されない原因となります。

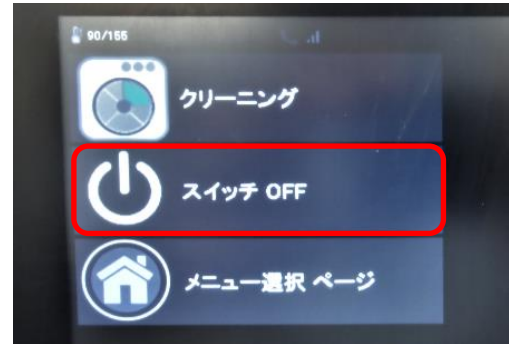


本製品の電源を切る

1 ドリンクメニュー表示画面の状態から指で画面の枠外から枠内にフリックしてください。
 ※誤ってドリンクメニューをタッチしないように注意してください。



2 メンテナンス画面に変わるのでスイッチOFFをタッチしてください。







3 本製品はPower On 画面になります。





4 本製品後ろの電源スイッチを切り(○側)ます。




アラーム表示 ①

| 各アラームディスプレイ表記 | 原因 | 処置 |
|--|---|--|
|  | 右側コーヒー豆ホッパー1にコーヒー豆がありません。 右側コーヒー豆ホッパー1のストッパーが閉じています。 シューターに粉が詰まっている場合があります。 | ① 各コーヒー豆ホッパーにコーヒー豆を補充してください。 ② 各コーヒー豆ホッパーをストッパーを開けてください。 ③ シューター清掃し粉を除きます。 豆を入れただけではメッセージは消えません。 補充後起動するとメッセージが消えます。 |
|  | 左側コーヒー豆ホッパー2にコーヒー豆がありません。 左側コーヒー豆ホッパー2のストッパーが閉じています。 シューターに粉が詰まっている場合があります。 | |
|  | 右側コーヒー豆ホッパー1のふたのカギがロックされていません。 右側コーヒー豆ホッパー1が正しくセットされていません。 | ① 各コーヒー豆ホッパーのふたをきちんと閉じてカギをロックしてください。 ② 各コーヒー豆ホッパーを正しくセットして、豆ストッパーを開けてください。 |
|  | 左側コーヒー豆ホッパー2のふたのカギがロックされていません。 左側コーヒー豆ホッパー2が正しくセットされていません。 | |

アラーム表示 ②

| 各アラームディスプレイ表記 | 原因 | 処置 |
|---|---|---|
| <p style="text-align: center;">排水トレイが満杯です</p>  <p style="text-align: center;">排水トレイが満杯です</p> | <p>排水トレイが満水になっています。</p> | <p>① 排水トレイを抜いて溜まった排水を捨ててください。</p> |
| <p style="text-align: center;">排水トレイをセット</p>  <p style="text-align: center;">排水トレイをセット</p> | <p>排水トレイが抜けています。 排水トレイがきちんとセットされていません。 排水トレイのセンサーが汚れています。</p> | <p>① 排水トレイをセットしてください。 ② 排水トレイを抜き再度セットしてください。 ③ 排水トレイのセンサー(金属部)を清掃します。 ※トレイを抜いて10秒以上経過してからトレイを挿入してください。</p> |
| <p style="text-align: center;">FBカス箱を空にする</p>  <p style="text-align: center;">ES カス箱を空にする</p> | <p>コーヒーカス箱がいっぱいになりました。 ※本エラーは抽出回数が規定数に到達すると表示しますのでカス箱に余裕がある場合もあります。</p> | <p>① コーヒーカス箱を抜いて溜まったカスを捨ててください。 ※カス破棄しセットしても [カス箱がいっぱい] が消えない場合は、カス箱を抜き [カス箱が抜けてます] 表示に変わり10秒経過してからカス箱をセットしてみてください。</p> |
| <p style="text-align: center;">カス箱が抜けてます</p>  <p style="text-align: center;">カス箱が抜けてます</p> | <p>コーヒーカス箱が抜けてます。 コーヒーカス箱がきちんとセットされていません。</p> | <p>① コーヒーカス箱を抜き再度セットしてください。</p> |
| <p style="text-align: center;">給水エラー</p>  | <p>※以下の可能性が考えられます。 ① 水の元栓が閉まっている。 ② 給水ホースが折れている。 ③ 断水している。 ④ 水の供給が遅い。</p> | <p>① 水の元栓が開いているか確認してください。 ② 給水ホースが折れていないか確認してください。 ③ 断水していないか確認してください。 ④ 水道の水圧が十分か確認してください。</p> |

トラブルシューティング ①

| 症状 | 確認項目、対処 |
|--|--|
| <p>・電源が入らない。</p> | <ol style="list-style-type: none"> ① ブレーカーが落ちていないか確認してください。 ② コンセントからプラグが抜けていないか確認してください。 ③ 電源ケーブルが本製品後ろのソケットから抜けていないか確認してください。(P7参照) ④ 前面ドアが閉まっているか？ドアキーがかけているか確認してください。 ⑤ 本製品後ろの電源スイッチが切られていませんか？(P7参照) |
| <p>・本製品下より水漏れ。</p> | <ol style="list-style-type: none"> ① 排水トレイがきちん挿入されているか確認してください。(P11参照) ② 抽出ユニットの茶色いチューブが抜けてないか確認してください。→抜けていたら抽出ユニットの茶色いチューブをセットしてください。 <div data-bbox="544 685 1310 1089" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;">  <p style="text-align: right;">エスプレッソ ユニット左上のチューブ</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> ③ ミルカーチューブが正しく差し込まれているか確認してください。(P19参照) |
| <p>・コーヒーカス箱に液体が溜まる。 ・コーヒーカス箱のカスが水っぽい</p> | <ol style="list-style-type: none"> ① 抽出ユニットの茶色いチューブが抜けてないか確認してください。→外れていたら茶色いチューブをセットし直してしてください。 ② 本製品のクリーニングを行なってください。(P12～P19参照) |
| <p>・コーヒーの味がうすくなった。</p> | <ol style="list-style-type: none"> ① コーヒー豆がホッパーに入っている事を確認してください(P8,10参照) ② 豆ホッパー(豆の容器)の内部に豆が張り付いている場合、ホッパー内を清掃してください。(P16参照) ③ 豆ホッパー内に異物(豆の袋など)が無い確認してください。 ④ コーヒーシューターに粉が溜まってないか確認してください。→溜まっていたら、シューターを清掃してください。 ⑤ 本製品のクリーニングを行なってください。(P12～P19参照) |
| <p>・コーヒーの出方が悪い。</p> | <ol style="list-style-type: none"> ① コーヒーの抽出ノズルの詰まりの可能性があるのでノズルの清掃を行ってください。(P13参照) ② 抽出ユニットの茶色いチューブが抜けてないか確認してください。→外れていたら茶色いチューブをセットし直してしてください。 ③ 本製品のクリーニングを行なってください。(P12～P19参照) |

トラブルシューティング ②

| 症状 | 確認項目、対処 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ コーヒーの量が少ない | <ul style="list-style-type: none"> ① コーヒー抽出ノズルが詰まっている可能性があります。 ノズルを清掃してください。(P13参照) ② 抽出ユニットの茶色いチューブが抜けてないか確認してください。 →外れていたら茶色いチューブをセットし直してしてください。 ③ 本製品のクリーニングを行なってください。(P12～P19参照) |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ ミルクの量が少ない ・ ミルクの泡立ちが悪い。 ・ ミルクの出方が悪い。 | <ul style="list-style-type: none"> ① オールインワンクリーンまたは、ミルカークリーニングを行なってください (P13～P15参照) ② ミルカーの分解洗浄を行なってください。(P17参照) ③ ミルカーのOリングを交換してください。(P18参照) ④ ミルカー本体を組み直してください。(P18～19参照) ⑤ ミルクチューブの差し間違いがないか確認してください？(P19参照) ⑥ ミルクチューブが折れていないか、又はクーラーと本製品の間で、 チューブが挟まっていないか確認してください。 ⑦ ミルク保冷庫が冷えているか確認してください。 |

保証とアフターサービスについて

1. 保証書

- 本書に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日」の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。
※記入が無い場合でも、お買い上げ日を証明する書類がある場合は、本保証書と一緒に保管してください。
- 保証書記載の修理規定をよくお読みになり大切に保管してください。

2. 修理を依頼される時

取扱説明書の内容をお確かめいただき、不具合が直らないときは電源プラグをコンセントから抜き、当社に修理についてご相談ください。

- 保証期間中の修理
保証書の規定により無料修理いたします。お買い上げの販売店または当社までお申し出ください。
- 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理をさせていただきます。
当社にご相談ください。
- 販売店が独自に定める延長保証(長期保証)サービスをご利用の場合
お買い求めの販売店にご相談ください。



3. アフターサービスについてご不明な場合

- アフターサービスについてのご質問等ありましたら、当社にお問合せください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- お名前
- ご住所
- 電話番号
- 商品名
- 製造番号
- 故障の状態、状況(出来るだけ詳しく)

ご使用の際の注意事項

コーヒーマシンを常に最適な状態に保つために、定期的な清掃作業を行ってください。

清掃作業は取扱説明書に従い、適切に洗浄してください。

使用開始前及び終了後は取扱説明書に従い洗浄してください。

使用中に取扱説明書に書かれていない不具合が発生したら直ちにご使用を止め、当社へご連絡ください。

補修用性能部品の保有期間について

当社では、補修用性能部品について、最終輸入日から5年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保 証 書（業務用製品）

| | |
|------------------|-------------------------------------|
| 型 名 | カリマリ社製 コーヒーマシン BlueDot 26 Plus E20M |
| シリアル番号 | |
| 保証期間 | ご購入時または設置の早い方の日から1年間 |
| ※お買い上げ日 | 年 月 日 |
| ※ お 客 様 | お 名 前 |
| | 住 所 |
| | 〒 電話（ ） |

- ※印欄に記入の無い場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
- 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■対象製品

本保証書に記載の製品。

■サービス提供

「出張修理」

■保証サービス規程

ブルーマチック保証サービス（以下「本保証」といいます。）は、商品のご購入または設置の早い方の日から開始され、ブルーマチックジャパン株式会社（以下「ブルーマチック」といいます）がサービスを運営・提供します。保証書に記載された製品（以下「本製品」といいます。）について、「保証サービス規程」（以下「本規程」といいます。）に定めるところに従い、無償修理（以下「保証修理」といいます。）を提供します。

第1条. 保証範囲

1. 本保証は、本製品の取扱説明書や注意書に従って正常に使用したにもかかわらず、本製品に生じた電氣的・機械的故障で目つ、本製品のメーカー保証規定にて保証対象となる故障（以下「自然故障」といいます。）を対象とします。
2. 第10条で定める「保証の適用除外事項」に該当する場合には、自然故障であっても本保証の対象外とします。

第2条. 保証期間

本保証が効力を有する期間は、本製品のご購入または設置の早い方の日から開始し、その後1年間が経過した時点で満了いたします。（以下、この期間を「保証期間」といいます。）保証期間内において本製品に係る修理回수에制限はないものとします。保証期間内に初期不良等によりブルーマチックより交換品（新品）が提供された場合、その他事由の如何を問わず、保証終了日は変更されないものとします。

第3条. 保証内容

本保証が効力を有する期間中に自然故障が発生した場合には、当該自然故障に係る保証修理に要する金額が、購入金額を超えない範囲で保証修理を行います。（以下、「上限金額」といいます。）なお、修理見積りが上限金額を超えた場合は、差額をご負担いただくことで修理いたします。保証上限金額は消費税込の金額となります。本製品は、ブルーマチックが規定する出張修理対象製品であるため、出張修理での保証修理を行います。この場合の出張料は本保証に含まれます。

第4条. 保証の終了

以下の事項に該当する場合には、本保証は終了となります。

1. 第2条に定めるところに従い、保証期間が満了した場合。
2. メーカーの倒産、事業撤退、修理部品の供給停止、その他メーカーがその責任により本製品の修理を行わず、又は修理のための部品等の供給を行えない状態となった場合(事業承継等により、メーカーと同水準・同条件にて修理を行う者が存在する場合、又は代替品の提供が可能な場合は除く。)

第5条. お客様のご負担となる主な費用

以下に定める事のない費用は、本保証には含まれておらず、専らお客様のご負担によるものとします。但し、本保証の範囲外の事由のない費用を、これらに限定する趣旨ではありません。

1. 本製品の修理方法を問わず、ブルーマチックジャパンの定める離島及び遠隔地の場合における、保証修理に要する交通費・宿泊費 等。
2. 本製品の設置・工事費用及び本製品の処分に係る費用。
3. 本保証利用時にお客様からのご連絡に必要な費用、その他通信費用。
4. 本保証の対象外となる故障及び当該故障の修理に必要な費用。
5. 本保証の対象外となり、保証修理をキャンセルされた場合に必要となる技術費用、出張費用、物流費用、見積費用等の一切の費用。
6. 修理以外の点検費用や消耗品を使用した場合の費用。

第6条. 保証修理の依頼方法

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、お客様は、ブルーマチックコールセンター（下記記載）に連絡して保証修理をご依頼ください。保証修理受付時に、保証修理手続の手順をご説明しますので、説明手順に従ってください。

ブルーマチックコールセンター045-947-0804

1. お客様による保証修理のご依頼をいただいた際、ブルーマチックコールセンター、お客様の本保証に関する保証登録情報（製品情報及び個人情報）の確認をいたします。お客様より保証修理依頼に際してご通知いただいた情報と登録情報との間に相違があった場合、その他お客様より必要な情報のご通知をいただけない場合には、本保証が提供されない場合がございますので、お客様におかれましては、本保証の加入後、保証書（必要情報が記載されております。）の保管・管理に十分ご注意くださいようお願いいたします。
2. ブルーマチックが必要と判断した場合に本製品に係る記憶装置のデータの消去を行うことについては、お客様には事前にご同意いただいているものとし、何ら異議を述べないものとします。
3. お客様のご都合により、修理受付日から1カ月経過しても修理の着手ができない場合には、修理受付を無効とします。

第7条. 登録情報の変更

以下の場合には、お客様におかれましては、速やかにブルーマチックコールセンターまでご連絡ください。ご通知いただけなかった場合には、本保証が適用されない場合があります。なお、保証書に記載されたお客様情報の変更は、保証書に記載されたお客様から、ご通知いただいた場合に限り承ります。

保証期間中に加入者名の変更や連絡先電話番号、住所等の変更がある場合、本規程をご説明の上、お客様より新しい所有者の情報をご通知ください。系列店の譲渡のみ所有者情報変更を承ります。本製品の第三者への転売や譲渡をされる場合には、本保証は終了となります。

第8条. 個人情報の使用

ブルーマチックは、お客様よりご提供いただいた保証項目、個人情報等を保管、使用、処理の上、本保証を提供します。また、本保証を提供するため、以下の場合に限り、ブルーマチックの責任において、事業協力会社（メーカー・修理会社・販売店・金融機関等）へお客様の個人情報を提供します。

1. 保証修理（代替品の提供を含む。）に際してブルーマチックと事業協力会社による個人情報の共有が必要となる場合。
 2. 本保証およびその他のサービスの品質向上を目的として、お客様に電子メール、郵便物によるアンケート調査。
 3. サービス案内およびキャンペーン等の実施。
 4. 本保証の品質向上を目的として、お客様における本保証の利用に関する情報を収集し分析すること。
 5. 個人情報の取扱いの全部または一部を委託する場合があります。
 6. ご提供いただいた個人情報を同意なしに第三者へ提供することはありません。
- お客様からの求めにより、ご提供いただいた個人情報について、その「利用目的の通知、開示、追加訂正または削除、利用の停止消去および第三者への提供の停止（以下「開示等」といいます。）」に応じます。

第9条. 間接損害

本保証に関する法律上の請求において、間接損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失等）、特別損害、付随的損害、拡大被害、他の機器や部品に対するデータの損失又は損傷、第三者からの賠償請求に基づく損害、身体障害（障害に起因する死亡及び怪我を含む。）並びに他の財物に生じた損害に関して、ブルーマチックは一切の責任を負わないものとします。但し、ブルーマチックの故意又は重過失によるものがある場合には、この限りではありません。

第10条. 保証の適用除外事項

以下の事項に該当する場合には、本保証は適用されないものとします。

1. お客様又は第三者の故意若しくは過失又はメーカー保証の対象外である加工、改造、修理、設置、工事若しくは清掃に起因する故障及び障害。
2. 使用する水質、水圧等の不良が原因で発生した故障及び損傷。
3. 取扱説明書、注意書に記載している取扱方法とは異なる不適切な使用（日常のお手入れ、改造行為、増設、電池漏洩等）等、取扱いが不適当であることに起因する故障及び損傷。
4. メーカーが定める想定された用法を超える過酷な使用に起因する故障及び損傷（車両、船舶への搭載、高温、高湿度等の特殊な環境での使用を含む。）。
5. 破損、落下、衝撃、火災、落雷、過電流、異常電圧、塩害、公害、水害、地震、その他天災地変や、異物の混入（金属、カビ、塵、埃、虫、鼠等）の外部要因事由に起因する故障及び損傷。
6. 消耗品（浄水カートリッジ、クリーナー、フィルターペーパー、パッキング、ガスケット、電池、等ブルーマチックジャパンが指定する部品）の交換に係る費用。
7. 消耗品単体の故障及び損傷。
8. メーカー指定外の消耗品の使用に起因する故障及び損傷。
9. 盗難、紛失、その他の事由により、お客様が本製品を保有しておらず、本製品の状態が確認できない場合。
10. 経年劣化あるいは使用損耗により発生する現象で、通常使用に支障の無い部分で経年劣化の範囲に相当するもの（外装品、塗装面、メッキ面、樹脂部分、スプリング等のヘタリ、自然退色、劣化、錆、腐食、カビ変質、変色、その他類似の事由等）。
11. 本製品の機能及び使用の際に影響の無い損傷（外観、傷、液晶の画面焼けやピクセル抜け及び輝度低下を含む）。
12. 本製品の仕様、構造上又は本来的性質に基づく制限、不利益等。
13. 本製品の付属部品、アクセサリ、周辺機器等の本製品以外の製品の故障、増設機器等の相性に起因する故障及び不具合。
14. ブルーマチックが保証修理の依頼を受けた本製品の点検・診断を実施した結果、故障の存在を確認できなかった場合。
15. 本保証の対象外に起因する故障であることが判明した場合の修理技術費用、部品代金、出張費用、物流費用、修理見積費用等。
16. 修理を伴わない調整（味や量、ミルク泡立ち、メニュー変更や追加）、清掃。
17. お客様ご自身で付加されたラベル・シート・カバー類、塗装・刻印等を元の状態に復旧する費用。
18. 本製品を日本国外に持ち出された場合の日本国外からの保証修理依頼。
19. 国又は公共団体の公権力の行使に起因する故障及び損傷。
20. 核燃料物質若しくは核燃料物質による汚染された物の放射性、爆発性その他の有害な特性に起因する故障及び損傷。
21. 戦争（宣戦の有無を問わず）、外国の武力行使、革命、内乱その他これらに類似の事変に起因する故障及び損傷。
22. 本製品の損害に係る申告内容の真実性について明らかな疑義がある場合。
23. 本製品と異なる製品（シリアル番号等が異なる場合等）の修理をご依頼された場合や、本製品のシリアル番号が確認できない場合（但し、製品の内蔵データ等から本製品と同一と確認ができる場合を除く。）

第11条. 本保証の解約

本保証は加入後から保証期間終了までの間、解約することは出来ません。

第12条. 解除

ブルーマチックは、お客様が、次のいずれかに該当する場合には、お客様に対する書面による通知をもって、本保証を解除することができます。

1. 暴力団、暴力団員（暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者を含む。）、暴力団準構成員、暴力団関係企業その他の反社会的勢力（以下「反社会的勢力」といいます。）に該当すると認められること。
2. 反社会的勢力に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等の関与をしていると認められること。
3. 反社会的勢力を不当に利用していると認められること。
4. 法人である場合において、反社会的勢力がその法人の経営を支配し、又はその法人の経営に実質的に関与していると認められること。
5. その他反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有していると認められること。

前項の規定による解除が自然故障の後になされた場合であっても、前項各号の事由が生じた時から解除がなされた時まで発生した自然故障については、保証修理を行いません。この場合において、既に保証修理を行っていた時は、ブルーマチックは、当該保証修理費用相当額の返還を請求することができます。

第13条. その他の注意事項

1. 故障並びに損害の認定等についてブルーマチックとお客様の間で見解の相違が生じた場合には、ブルーマチックは、中立的な第三者の意見を求めることができます。
2. 修理依頼品において、返却可能日をお知らせしている場合（お客様のご都合でお知らせできない場合を含む。）、依頼をお受けした日から3ヶ月を経過してもお受け取りいただけない時は、ブルーマチックにて処分します。その際には修理費用（キャンセルに伴う一切の費用を含む。）に加え、処分に必要な費用一切を、ブルーマチックの請求に従い速やかにお支払いいただくものとします。
3. お客様は、本製品をご購入または設置いただいた時点で、本規程にご同意いただいたものとします。

第14条. 本規程の変更

1. ブルーマチックは、本規程の目的に反しない限度で、法令に従って本規程を変更することがあります。
2. 前項に基づき本規程を変更する場合には、ブルーマチックのホームページへの掲載その他適切な方法により、変更内容及び変更時期を事前にお客様に周知することとします。

輸入代理店
ブルーマチックジャパン株式会社
神奈川県横浜市都筑区仲町台5-4-22



ブルーマチックジャパン株式会社

本社：神奈川県横浜市都筑区仲町台5-4-22

大阪(営)：大阪府大阪市西区阿波座1-9-9

福岡(営)：福岡県福岡市博多区豊1-5-24 丸信ビル108

<http://www.brewmatic.co.jp/>



211216